

道央自動車道の果たした役割

①町道迂回路の交通負荷軽減

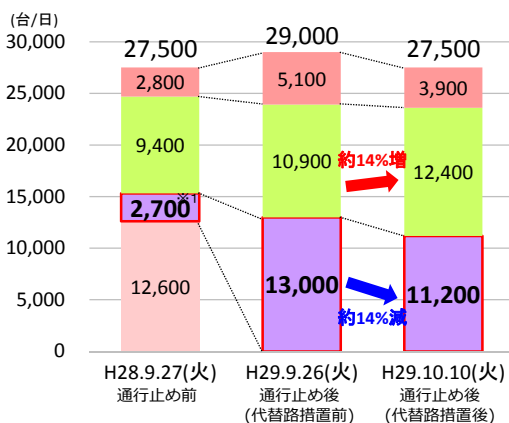
○道央自動車道 登別東IC－白老IC間の代替路(無料)措置により、町道迂回路の交通量は、全車種約14%、大型車約35%減少し、交通負荷を軽減
(道央自動車道の交通量は全車種約14%、大型車約10%増加)

■ 代替路(無料)措置等による町道迂回路の交通負荷軽減

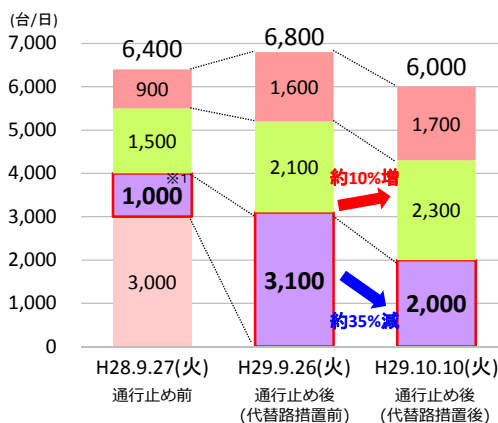


■ 代替路(無料)措置前後の交通量の状況【A-A'断面交通量】

全車種



大型車



道央道の代替路(無料)措置により町道迂回路の交通負荷軽減

※1 町道の通行止め前の交通量：近傍道道のH27道路交通センサ値

※国道・町道交通量：室蘭開発建設部調べ
 道央自動車道交通量：NEXCO東日本
 トラフィックカウンターの速報値

道央自動車道の果たした役割

② 苫小牧港を拠点とした自動車関連製品等の物流を支援

○被災後は、苫小牧港と室蘭とを結ぶ国道36号が通行止めとなったが、道央自動車道の迅速な代替路(無料)措置により、自動車関連製品等の苫小牧港経由、道外・輸出輸送ルートを確認

■ 代替路(無料)措置等による輸送ルートの確保



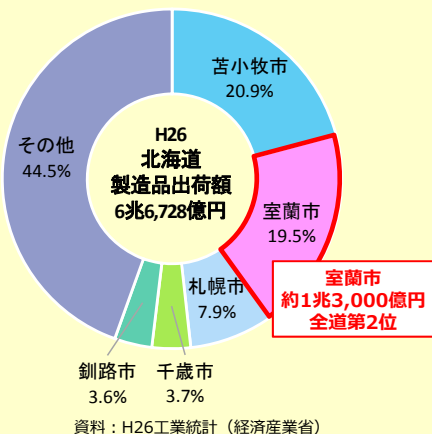
・国道36号通行止め直後は、白老の町道を迂回していましたが、大型車のすれ違いが円滑にできず、渋滞も発生したため、道央自動車道を通行するようにしました。無料措置以前から迂回路として道央自動車道を通行していたため、無料措置により輸送コストへの影響を最小限に抑えられました。

・この無料措置により、問題なく輸送を行うことができますが、通常の輸送ルートでもある国道36号の強靱化、早期復旧に期待しています。

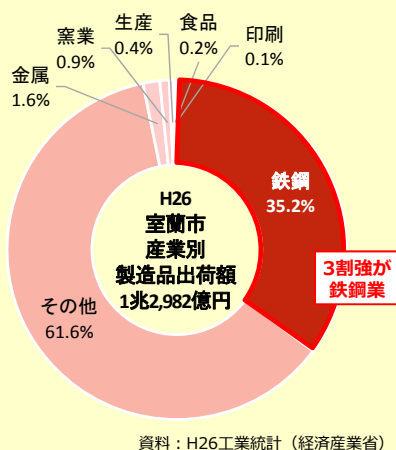


トピック: 室蘭製鐵所から苫小牧港経由の自動車関連製品等の出荷支援

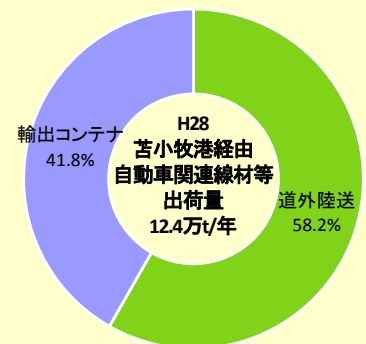
■ 室蘭市製造品出荷額 1兆3千億円、全道第2位



■ 室蘭市製造品出荷額の 3割強は鉄鋼



■ 室蘭製鐵所から苫小牧港経由で出荷する 自動車関連製品・鉄鋼は約12万t/年



道央自動車道の果たした役割

③白老町の救急搬送を支援

○道央自動車道の代替路(無料)措置後、町道迂回路通行所要時間が短縮、患者の容体悪化など、重大事案発生を回避

■ 代替路(無料)措置等による救急搬送ルートの確保

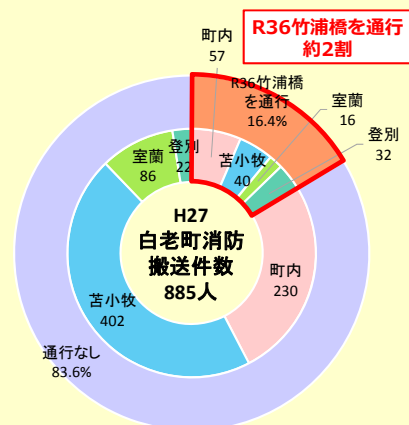


- ・国道36号通行止め発生直後は、町道迂回路周辺の交差点が混雑し、通常より救急活動における所要時間が5~10分程度長くなっていたが、**道央道代替路措置により、町道迂回路から道央道へ交通転換したことから、町道迂回路の混雑が軽減された**と感じています。
- ・搬送等の所要時間が通常より長かったことで、患者の容体に死亡などの重大な影響が発生した事案はありませんが、この通行止めにより、**国道が安定して走行できることが大変重要なことと改めて認識しており、国道36号の早期通行止め解除をお願いしたいです。**

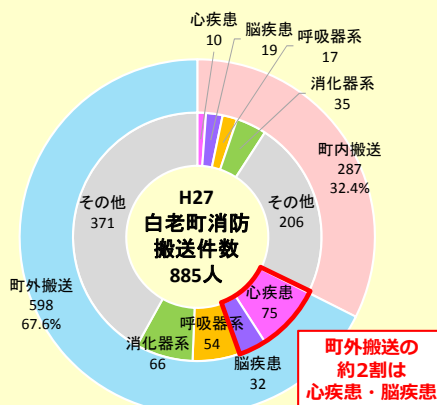


トピック: 白老町の救急搬送

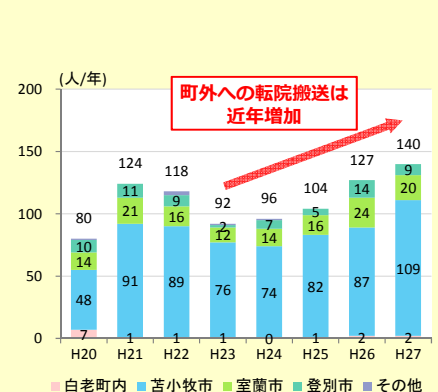
■ 国道36号竹浦橋を通行する救急搬送は約2割



■ 町外搬送の約2割は心疾患・脳疾患



■ 近年増加する町外への転院搬送



資料：白老町消防本部ヒアリング
※ヘリ搬送は除く